

V. 貿易大学への教員派遣事業

1. 派遣教員、奈良女子大学研修生

派遣教員	水垣源太郎	奈良女子大学研究院人文科学系人文社会学領域 准教授
研修生	三宅沙矢子	奈良女子大学文学部人文社会学科 4回生
研修生	山崎みはる	奈良女子大学文学部人文社会学科 4回生

2. 派遣期間

平成24年10月30日(火)～11月6日(火) 8日間

3. 概要

平成24年10月30日(火)～11月6日(火)の日程で、ベトナム社会主義共和国ハノイ市を訪問し、貿易大学日本語学部において、日本の組織文化に関する講義を行った。

貿易大学では、日本語学部長 (Dean of Faculty of Japanese) Nguyen Van Hao 教授および副学部長 (Vice Dean) Tran Thi Thu Thuy 教授に特別のご配慮をいただいた。これらの先生方のご厚意に深く感謝したい。

また、ほぼ同日程でベトナム国家大学人文社会科学大学東洋学部日本学科に派遣された内田忠賢教授の講義にも協力して参加した。同大学東洋学部副学部長 (Vice Dean) Giang 講師には特別のご配慮をいただいた。謝意を表したい。

今回は、学部指導学生2名を同行し、貿易大学および人文社会科学大学の学生との交流を図った。とくに貿易大学においては、講義とは別に学生同士の交流の時間を持つことができた。

また現地において、指導学生の卒業論文研究および筆者自身の研究のための現地質問紙調査を行った。調査内容は日本とベトナムにおける社会関係資本の比較である。卒業論文研究はこの調査の一部を用いて行われ、平成24年度卒業論文「日本とベトナムにおける女子大学生の友人関係」(三宅沙矢子)として提出された。それ以外の結果は両大学に報告する予定である。こうした成果が相互理解の発展に寄与することを願っている。

4. 講義内容

日本学科における講義は、11月3日(土)～4日(日)の2日間、それぞれ09:00～16:30に、「日本の組織文化：社会心理学の観点から Văn hóa tổ chức của Nhật Bản: từ quan điểm tâm lý học xã hội」と題して行った。

受講生は40名。講義は日本語で行い、資料は日越併記で作成した。講義では、次の3つの問いを中心に、組織の一般原則と公式・非公式な特性、その背景となる日本人の社会意識と行動についてベトナムと対照させつつ解説した。

1. 組織の一般原則とは何か

Nguyên tắc thông thường của tổ chức là gì?

2. 日本の組織の公式構造の特徴 Đặc trưng cấu tạo chính thức của tổ chức của Nhật Bản là gì?

3. 組織の人間関係に関する特徴 Đặc trưng về quan hệ con người của tổ chức là gì?

【授業計画】

11月3日(土) 09:00~11:30, 14:00~16:30

0. 自己紹介と導入 09:00~11:30

- ・自己紹介
- ・現代の日本社会の概要

第1部 組織の一般原則 14:00~16:30

1. なぜ組織はピラミッド型をしているのか
2. 組織をうまく機能させるにはどうしたらよいか
3. 労働者はルールに従って働いているか

11月4日(日) 09:00~11:30, 14:00~16:30

第2部 日本の組織のシステム: 公式構造 09:00~11:30

4. 意思決定システム: 稟議制(りんぎせい)
5. 採用と昇進: 動機づけの側面

第3部 日本の組織の人間関係: 非公式構造 14:00~16:30

6. リーダーシップ
7. 集団主義

試験と解説 16:00~16:30

講義の第一日目前半では、導入として講師の個人的経歴を紹介し、1960年代から80年代における私的経験を話した。受講生の関心が高い現代日本の若者文化がこの転換点の延長として理解できることにも触れた。次に、背景となる知識として、日本の近代と社会変動の諸相、とくに、人口集中と過疎化、教育と社会階層、家族形態の変化、生活水準の上昇と消費生活の変化、少子高齢化の諸側面について、具体例を交えながら説明した。さらに、その帰結として、現在の日本人の意識がおおまかに3つの世代によって異なることを論じた。

第一日後半では、組織論に入り、ピラミッド型構造とその理由、コーディネーションとモチベーションといった一般原理について解説した。また翌日の資料として用いるため、受講学生への簡単な質問紙調査を行った。

第二日前半は、日本の組織の話題を取り上げ、とくに特徴的な意思決定システムとして稟議制、および採用と昇進によるモチベーション・システムの特徴について具体例を交えながら説明した。

第二日後半は、リーダーシップやいわゆる「集団主義」に関する非公式的文化について解説した。これらが組織を超えたより一般的な文化であることを示すため、前日の実施した質問紙調査と、事前に本学で実施しておいた調査を用いた。最後に、受講生たちが大きな関心を寄せている現在の日本の若者文化の一端を紹介し、最後に試験を実施して講義を終了した。

参考資料 1

2012 貿易大学集中講義概要 (03_04 Nov 2012)

水垣 源太郎 Mizugaki Gentaro

(奈良女子大学文学部・社会学)

日本の組織文化：社会心理学の観点から

【授業概要】

現在の日本社会はグローバル化の時代を迎え、かつては日本的経営と呼ばれた企業組織の特徴も変わりつつある。こうした背景を考慮しながら、次の3つの問題を通して、日本の組織の構造と特徴を考察する。

1. 組織の一般原則とは何か
2. 日本の組織の公式構造の特徴は何か
3. 組織の人間関係に関する特徴は何か

【授業計画】

11月3日(土)

0. 自己紹介と導入 50分*2
- ・本授業の概要・目的と進め方
 - ・日本社会の基礎データ・日本の概要について

第1部 組織の一般原則 50分*3

1. 概論：なぜ組織はピラミッド型をしているのか
2. 公式構造と非公式構造：社会心理学の観点から
3. 公式構造：誘因と動機づけ
4. 非公式構造：人間関係

第2部 日本の組織のシステム：公式構造 50分*4

5. 概論：日本の組織の公式構造の特徴は何か
6. 意思決定システム：稟議制（りんぎせい）
7. 採用と昇進：動機づけの側面
8. グローバリゼーションの影響1

11月4日(日)

第3部 日本の組織の人間関係：非公式構造 50分*4

9. 概論：組織の人間関係に関する特徴は何か
10. トップ・マネジメントとリーダーシップ
11. 集団主義
12. グローバリゼーションの影響2

試験と解説 50分*2

参考資料 2

貿易大学日本語学部「奈良女子大学コース」試験問題

2012年11月4日

クラス() 氏名()

問1. なぜ組織はピラミッド型をしているのかについて説明しなさい。

Hãy giải thích tại sao tổ chức có hình kim tự tháp

問2 あなたが日本について知っていることについて書きなさい。

Hãy kể những điều bạn biết về Nhật Bản

文化, 経済, アニメ, マンガ, 食べ物, 映画, 音楽, ファッション, ...

Văn hóa, kinh tế, anime, manga, ẩm thực, phim ảnh, âm nhạc, thời trang

問3 この授業のなかで、とくにおもしろかったこと、もっと知りたいと思ったことなどについて自由に感想を書きなさい。

(以上)